

【米田名誉主宰の俳句】

夏 匂 う

米田規子

竹皮を脱ぎ午後からの雨催い
母性とも白あじさいのふくらみに
夏 鶯 足 腰 し か と 急 な 坂
花束をふわりと腕に夏 匂 う
家路にぽつと灯り枇杷の実のたわわ
ふたりの会話風にさらわれ鴨足草
詩を見失い紫陽花に溺れけり
植木屋の末っ子跳ねる夏の空
きょうの健康夏草に負けている
それぞれの傾きグラジオラスの空